

3月24日に新津出張所と統合
新潟地方法務局白根出張所



国の出先機関である新潟地方法務局白根出張所を廃止し、三月二十四日に新津出張所（四月から新津支局）と統合することが決定しました。

この統合は、国の中央省庁等改革の推進に関する方針に基づく、地方法務局の支局、出張所の整理統合によるもので、平成十三年十月、新潟地方法務局から「白根出張所も平成十五年度をめどに新津出張所と統合する」との計画が示されていました。

法務局側の計画に対し、平成十三年十二月、市議会は「新潟地方法務局白根出張所の存置に関する意見書」を採択。平成十四年六月には、商工会など関係団体で構成する「新潟地方法務局白根出張所統廃合問題対策協議会」が発足し、八月、新潟地方法務局長に対して「白根出張所存置の要望書」を提出しました。さらには、吉沢市長が九月に直接法務省へ出向き、「白根出張所の存続に関する要望書」を法務大臣あてに提出するなど、一体となって存続を訴えてきました。

しかし、再三にわたる要望も、法務局側は「国の方針がすでに決定している」などを理由に、計画の変更はしないと回答。その後の協議も平行線をたどったまま、平成十五年一月、法務局側から新津出張所への統合手続きを取る旨の通知がされ、これにより白根出張所の廃止が正式に決まりました。

なお、白根出張所は三月二十日までの通常どおり業務を行います。

会社および法人の印鑑証明書
交付用印鑑カードの取り扱い

白根市に本店のある会社および法人は、平成十五年3月24日(月)から新津出張所が管轄法務局となりますが、白根出張所で発行された会社および法人の印鑑証明書交付カードは、現在お使いになっている印鑑カードをそのままご利用いただくことができます。

ご不明な点がございましたら、新潟地方法務局法人登記部門(☎226・0951)または新津出張所(☎0250・22・0501)までお問い合わせください。



※白根出張所のカードは、このままご利用いただけます

3月24日から登記事務は
新津出張所(4月から新津支局)となります

今回の統合により、白根出張所が管轄していた登記事務は、新津出張所(新庁舎)で取り扱われます。

また、平成十五年4月から、新津出張所の名称を「新津支局」へ変更するとともに、これまで取り扱っていた業務に加えて、戸籍事務、国籍事務、供託事務、人権擁護事務も取り扱う予定です。

■新津出張所(新庁舎)所在地 〒956-0000 新潟市大字新津4463番地1 ☎0250・22・0501 ■白根出張所統合についての問い合わせ 新潟地方法務局総務課 ☎222・1561(代表)



ガス事業民営化と行財政改革について審議
白根市総合審議会



二月十三日、市役所で白根市総合審議会が開かれ、ガス事業の民営化と行財政改革実行計画について審議しました。

ガス事業の民営化については、昨今、エネルギー事業の規制緩和が進む中、将来的に競争が激化し、本市においてもその影響を受ける可能性があることや、需要家の利便性の向上を図るためには、多大な投資が必要であることから、民間への事業譲渡を検討してきました。

また行財政改革実行計画については、平成七年度に策定した行政改革大綱を、社会情勢の変化や住民ニーズの多様化に対応していくものとするため、単年度ごとに実行計画の見直しを図ることとしており、今回は平成十五年の実行計画について審議したものです。

その他の議題としては、市町村合併の現況について説明がされました。

老人保健福祉計画・介護保険事業計画を承認
第4回白根市介護保険運営協議会



二月十二日、第四回白根市介護保険運営協議会が市役所で開かれ、最初に、介護保険料の再算定結果(月額三千二百七十一円)と、保険料の市単独減免について協議が行われ、いずれも承認されました。

次に同協議会が、第一回から審議してきた白根市老人保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について、低所得者への配慮や介護予防事業の充実などを、市に検討するよう求める意見を付した上で計画案を了承。この審議内容が、高橋会長から吉沢市長に答申されました。

この答申内容に基づいて、市は高齢者施策と介護保険事業を運営していくこととなります。

開校まであと1カ月

白南中学校完成、保護者説明会を開催



白南中学校の校舎棟と体育館棟が完成しました。これを受け、関係者学校教職員と白根市教育委員会は、一月二十八日に新一年生とその保護者、二月四日に新二、三年生の保護者を対象とした、同校の説明会を開催しました。

まず自由見学が行われ、完成したばかりの校舎内をくまなく見学。普通教室や特別教室、体育館などを訪れるたび、あちこちから「すごい」「うらやましい」との声が飛び交っていました。ある保護者は「木をたくさん使用していて、全体的に明るい雰囲気でした」と感想を話してくれました。

説明会では、白南中学校の校旗や校歌、制服、体操着、部活動、バス運行などが説明されたほか、グラウンド整備等について報告されました。白南中学校は平成十五年四月に開校し、七日に始業式、八日に入学式が行われます。

平成15年度転作率は33・9%



二月十七日、白根学習館のラスベックホールで「平成十五年水田農産調整目標面積等の配分説明会」が行われ、農家組合長ら三百人が出席しました。

水田農産調整目標面積等の配分説明会では、農家組合長ら三百人が出席しました。吉沢市長が「この四十年足らずで、米の消費量は約四割も減っています。このような現状で稲作経営を継続するには、生産調整は必要であり、やむを得ない選択肢。皆さんのご理解とご協力をお願いします」とあいさつしました。

その後、制度や目標面積等の配分について説明がありました。